教職員のみ

学校番号	413

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学ＩA演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	チャート式　短期完成大学入学共通テスト対策　数学Ⅰ・A（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学ＩA演習は、これまで学んできた数学Ⅰ・数学Aの知識を元に、さらに広く数学的な教養を身につけることを目標とした科目です。日常生活においても、それらを活用できる数学の活用力の育成を図ります。また、選択科目として主体的に選択した意義と価値を定めるため、事前に問題を解かせて、その中での疑問点等を自覚させるなど、主体的・対話的な設定をするとともに、プレゼンテーションさせる機会を設けます。
具体な学習方法としては、例題や問題などをまずは自力で考える習慣をつけましょう。問題を解く力を養うには自分で考える時間をなるべく多くすることがとても大切です。授業をきちんと受けて、解答を先に見ないで例題や問題を自分で解いてみましょう。問題が解けたら答え合わせも必ず行いましょう。答え合わせは自分がどこでつまずいているかを確認するための大切な作業です。このことを授業中はもちろん、家庭学習においても常に意識して最後まであきらめずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

以下の資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
中学数学・数学Ⅰ・数学Aの基本を振り返り、定義・公式を理解・活用し問題を解く。
【思考力、判断力、表現力等】
数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養い、入試問題など重要な頻出問題の解決力を修得する。
【学びに向かう力、人間性等】
数学の学習を通して論理的に事象を考察する力を培い、それらを活用する態度を身につける。また問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題演習を通して、数学Ⅰ・数学Aにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	問題演習を通して，数学Ⅰ・数学Aにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、数学Ⅰ・数学Aの考え方に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用しようとしている。数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度が養われている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	演習①	中学数学復習 式の計算 実数	a:公式・性質を正しく活用することができる。図やグラフを活用し、正確に問題を解答することができる。 b: 答案の作成に当たり、主張したいことが伝わる。また、採点者の立場から、見やすい答案を書くことができる。 c:出題の意味を理解し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断し、複雑な問題を考察できる。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり,評価・改善したりしようとしている。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	提出ノート 課題発表 授業態度
	演習②	1次不等式				
	演習③	集合 命題と論証				
	演習④	関数とグラフ				
2学期	演習⑤	2次方程式 2次不等式	a:公式・性質を正しく活用することができる。図やグラフを活用し、正確に問題を解答することができる。 b: 答案の作成に当たり、主張したいことが伝わる。また、採点者の立場から、見やすい答案を書くことができる。 c:出題の意味を理解し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断し、複雑な問題を考察できる。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり,評価・改善したりしようとしている。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	提出ノート 課題発表 授業態度
	演習⑥	鋭角の三角比 三角比の拡張				
	演習⑦	三角形への応用				
	演習⑧	データの散らばりの大きさ データの相関				
	演習⑨	データの分析の応用 仮説検定の考え方				

教職員のみ

3 学 期	**演 習 ⑩**	場合の数 確率とその基本性質	a:公式・性質を正しく活用することができる。図やグラフを活用し、正確に問題を解答することができる。 b: 答案の作成に当たり、主張したいことが伝わる。また、採点者の立場から、見やすい答案を書くことができる。 c:出題の意味を理解し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断し、複雑な問題を考察できる。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	課題プリント 確認テスト 提出ノート	課題プリント 提出ノート	提出ノート 課題発表 授業態度
	演 習 ⑪	いろいろな確率				
	演 習 ⑫	三角形の性質				
	演 習 ⑬	円の性質 空間図形				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度